

Business Report

第19期 第2四半期株主通信 2015.4.1 ▶ 2015.9.30

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。
さて、ここに当社グループの第19期第2四半期(2015年4月1日から2015年9月30日まで)の事業の概況と決算についてご報告申し上げます。

業績の概要

●当第2四半期の業績

当第2四半期の業績は、売上高8,537百万円、営業利益1,859百万円、経常利益1,917百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,236百万円となりました。

当社グループが属する業界では、半導体市場におけるスマートフォンや車載向けの需要は堅調に推移し、中小型ディスプレイ市場でも、中国のスマートフォン向けが競争激化によって販売価格の下落がみられるものの、高精細パネルや車載向けの需要が継続していることから、設備投資は引き続き順調に実施され、生産活動も順調に推移しました。

このような状況の中、当社グループのエレクトロニクス関連事業は、主に半導体工場での設備投資が継続して実施されていることから、顧客の設備投資に伴い発生するイニシャル部門は好調に推移しました。また、生産活動に伴い発生するオペレーション部門につきましては、半導体工場および中小型ディスプレイ工場における生産活動が順調に推移していることから、主にオンサイト事業、特殊ガス販売、半導体製造装置メンテナンスが好調に推移したことに加えて、今期より開始した半導体製造装置メンテナンス用部品の製造販売が売上の増加に寄与した結果、売上高は80億90百万円、セグメント利益は20億76百万円となりました。

一方、グラフィックスソリューション事業においては、デジタルサイネージ向け販売が順調に推移し、放送業界向け3Dキャラクタージェネレーターの販売も売上の増加に寄与しましたが、事業拡大のための体制強化や将来的な販売拡大を図るための設備投資を実施したことにより費用が増加した結果、売上高は4億39百万円、セグメント利益は50百万円となりました。

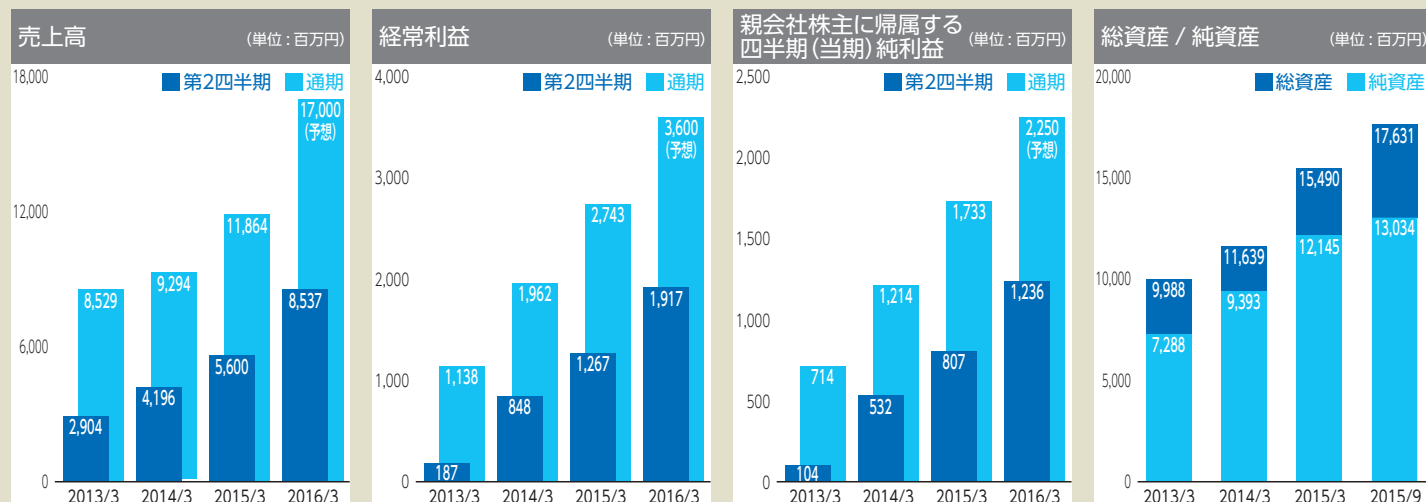


代表取締役社長 田中 久男

●通期の見通し

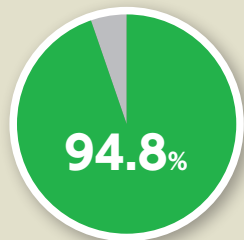
エレクトロニクス関連事業においては、主要顧客における設備投資が継続して実施されるものと想定されることから、確実に受注を獲得し、技術サービスの拡充を図ることで事業拡大に繋げていきたいと考えております。一方、グラフィックスソリューション事業においても、積極的な営業展開を図ることで販売を拡大する予定をしております。これらの計画により当社グループの通期見通しは、売上高17,000百万円、営業利益3,600百万円、経常利益3,600百万円、親会社株主に帰属する当期純利益2,250百万円としております。

業績ハイライト



最先端工場等へのトータルファシリティサービスを提供

事業別売上高比率



【事業内容】

主に半導体・液晶等の製造工程で不可欠な特殊ガス、超純水、薬液、動力・空調等に関連するインフラ事業を行っており、これらのライフライン管理を一括して請負うトータルファシリティマネジメントを中心として顧客のコストダウンに貢献しております。

更に、半導体製造装置の保守・メンテナンス、セカンドパーツの製造・販売等へ事業領域を拡大しております。

【当第2四半期の業績】

売上高	80億90百万円 (前年同期比 54.0%増)
セグメント利益	20億76百万円 (前年同期比 43.7%増)

イニシャル(主に工場建設立ち上げ・増設時)

特殊ガス供給装置製造	供給配管設計施工
------------	----------

オペレーション(工場稼働後の運転・保守・管理)

特殊ガス販売管理業務	技術サービス					その他
	メンテナンスサービス	薬液供給管理	超純水プラント運転管理請負業務及びメンテナンス	半導体製造装置メンテナンス	メンテナンス用部品製造・販売	
						オンサイト

広島事業所開設

株式会社JMエンジニアリングサービスが展開する半導体製造装置の保守・メンテナンスの事業拡大を目的として広島事業所を開設しました。

三フッ化窒素(以下「NF₃」)業務提携契約の締結

2015年7月に世界最大のNF₃メーカーであるOCI Materials社(韓国)が製造するNF₃の仕入に関する権利を確保するため業務提携契約を締結しました。

半導体や中小型ディスプレイ製造装置のクリーニングガスとして使用されるNF₃は、今後国内外で大幅な需要の増加が見込まれており供給不足の状態になると予想されております。同契約の締結によりNF₃の仕入が安定し、お客様への安定供給と競争力強化を図ります。

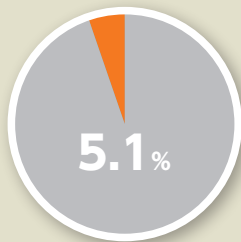
太陽光発電所を開設しました

三重県津市白山町に最大出力2メガワットの大規模太陽光発電所を建設し、2015年10月から稼働いたしました。9,600枚を超える太陽光パネルが年間約240万kwh(一般家庭約500世帯分の年間消費電力量に相当)の電気を作り続けます。昨年10月に三重県度会郡南伊勢町に設置した太陽光発電施設および当社本社工場の屋上を含め3か所目の太陽光発電施設となります。



マルチディスプレイシステムを中心としたソリューションを提供

事業別売上高比率



【当第2四半期の業績】

売上高	4億39百万円 (前年同期比 26.3%増)
セグメント利益	50百万円 (前年同期比 9.7%減)

【事業内容】

グラフィックス製品

マルチディスプレイ用グラフィックボード、デジタルサイネージプレーヤー等の販売・サポートを行っております。

小売店やレストラン、美術館・博物館、金融機関、教育機関、医療機関、アート・エキシビション等の幅広い分野で活用されています。

放送用機器

3Dキャラクタージェネレーターやスタジオオートメーションシステム、その他各種放送用ビデオ機器等の販売・サポートを行っております。

主要放送局・地方局やポストプロダクションで採用されています。

3D CADビューワソフト

顧客の「もっと気軽に、簡単に」の声に応え、3次元データ有効活用を目的とした技術系アプリケーションを開発・販売しております。

BrightSign

プロジェクションマッピングの再生機材としてBrightSignデジタルサイネージプレーヤーが活用されています。

BrightSignのサイネージプレーヤーを複数台使用して映像を同期再生し、窓ガラスへ投影された映像と窓外の景色と融合させた空間を演出したり、様々なコンテンツを再生することで新しい空間を造り出しています。

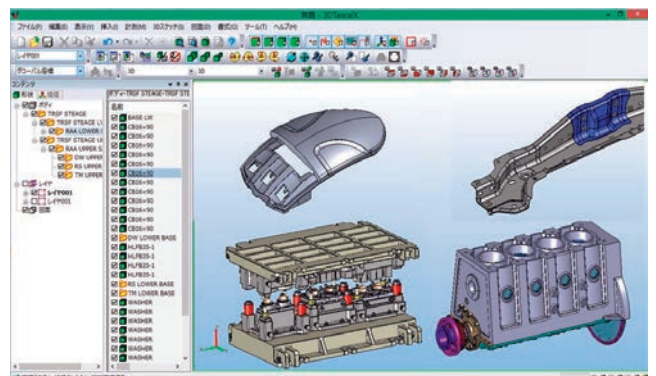


食、空間、様々なプロダクトから生まれる体験を提供している飲食店9STORIES様

シーセツト 新製品 3DtascaX/Light

3DtascaX/Lightを新たにリリースしました。

ものづくりの中でも特に製造工程をターゲットに高精度・多機能なハイスpek 3Dビューワとして開発した3DtascaXの「ビューワ以上CAD未満」のコンセプトはそのまま、データ出力機能を制限しながらもインターフェース(CATIA, NX等)を標準化し、低価格で1年間ご利用いただけます。



会社情報

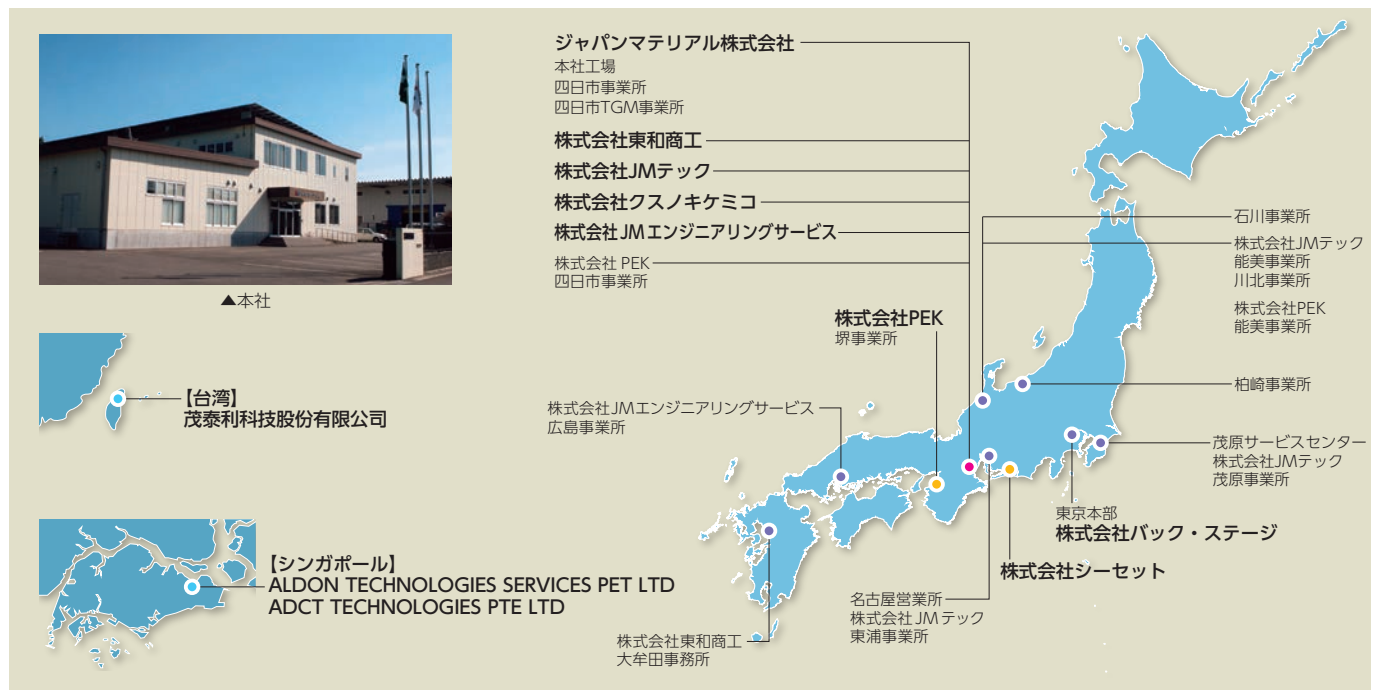
社 名：ジャパンマテリアル株式会社
(英文社名 JAPAN MATERIAL Co.,Ltd.)
設立年月日：1997年4月28日
資本金：13億1,781万5,250円
上場市場：東証一部、名証一部
代表者：代表取締役社長 田中久男
従業員数：(連結)668名、(単独)206名
本店所在地：三重県三重郡菰野町永井3098番22

役 員
代表取締役社長 田中久男
常務取締役執行役員 深川圭造
取締役執行役員 小川宏八
取締役執行役員 門脇圭祐
取締役執行役員 長谷中智和
取締役執行役員 坂口好則
社外取締役 町田和彦
社外取締役 大島次郎
常勤監査役 喜多照幸
社外監査役 安井広伸
社外監査役 春馬葉子
執行役員 西村辰彦
執行役員 森正勝

関係会社

名称	住所	資本金 (単位：百万円)	主要な事業の内容	名称	住所	資本金 (単位：百万円)	主要な事業の内容
株式会社東和商工	三重県四日市市	40	エレクトロニクス関連事業	株式会社シーセット	静岡県浜松市中区	19	グラフィックスソリューション事業
株式会社JMテック	三重県三重郡菰野町	30	エレクトロニクス関連事業	株式会社バック・ステージ	東京都中央区	5	グラフィックスソリューション事業
株式会社クスノキケミコ	三重県四日市市	30	エレクトロニクス関連事業	茂泰利科技股份有限公司	台湾台中市	110,000千NTD	エレクトロニクス関連事業
株式会社JMエンジニアリングサービス	三重県三重郡菰野町	30	エレクトロニクス関連事業	ALDON TECHNOLOGIES SERVICES PTE LTD	シンガポール	340千SGD	エレクトロニクス関連事業
株式会社PEK	大阪府堺市堺区	20	エレクトロニクス関連事業	ADCT TECHNOLOGIES PTE LTD	シンガポール	200千SGD	エレクトロニクス関連事業

グループネットワーク



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
配当金受領株主確定日 3月31日(期末配当)
定時株主総会 毎事業年度末日の翌日から3ヶ月以内
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
電話 0120-232-711 (通話料無料)

公告掲載方法 当社の公告は電子公告により行います。ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。
公告掲載URL <http://www.j-material.jp/>

証券コード 6055

【ご注意】

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

ホームページで最新情報を提供

当社のホームページでは、会社情報、各事業情報、CSR情報等に加え、充実したIR情報を掲載しております。ぜひご覧ください。

<http://www.j-material.jp/>



▲トップページ



▲IR情報トップページ

JM ジャパンマテリアル株式会社

〒510-1311 三重県三重郡菰野町永井3098番22
TEL.059-399-3821 FAX.059-399-3828
<http://www.j-material.jp/>



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。